

2016年9月2日

国際協力機構(JICA)が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

第一生命保険株式会社(社長:渡邊光一郎 以下「当社」)は、独立行政法人国際協力機構(JICA)が発行する国内市場初の「ソーシャルボンド」※23億円の投資を決定しました。

※「ソーシャルボンド」は、社会開発に資する事業を資金用途とする債券で、国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)が定義する「ソーシャルボンド」の特性に従った債券である旨、国内発行体として初めてセカンド・オピニオンを取得しています(セカンド・オピニオン発行者:株式会社日本総合研究所 創発戦略センター)

JICAは、開発途上国に対して低利で長期の条件で公共事業等の開発資金を貸し付けることによって、開発途上国の経済・社会発展への取組みを支援する有償資金協力事業を行っています。

当社では、安全性・収益性の視点に加え、環境・社会・ガバナンスといった持続可能な社会の構築に向けた貢献を考慮する「ESG投資」の視点も盛り込んだ資産運用に取り組んでおり、2015年11月には国連の責任投資原則(Principles for Responsible Investment:PRI)にも署名※しました。

※当社ホームページ 2015年11月2日 国連責任投資原則への署名についてをご参照ください。

http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2015_062.pdf

当社は、今後も多様な投資案件への取組みなどによる運用手法の高度化・多角化、ならびに機関投資家としての本来機能の発揮により、資産運用収益を確保し、企業価値向上を目指していきます。

<本債券の概要>

発行体: 独立行政法人国際協力機構(JICA)
(R&I格付け AA+, S&P格付け A+)

発行額: 総額350億円